



食薬セ研第8-1899号

ジイソプロピルベンゼン
の細菌を用いる
復帰突然変異試験

厚生省生活衛生局 委託

財団法人食品薬品安全センター

秦野研究所

【目 次】

	頁
要 約	1
緒 言	2
材料および方法	3
結果および考察	7
結 論	8
特 記 事 項	8
文 献	8
Tables 1~3	
Appendices 1、2	

【要 約】

ジイソプロピルベンゼンの変異原性の有無を、細菌を用いる復帰突然変異試験により検討し、陰性の結果を得た。

検定菌として、*Salmonella typhimurium* TA100、TA1535、TA98、TA1537 および *Escherichia coli* WP2 *uvrA* の5菌株を用い、S9 mix 無添加および添加の条件でプレインキュベーション法により用量設定試験および2回の本試験を行った。用量設定試験を50.0～5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ の用量で行ったところ、S9 mix 無添加試験においては、WP2 *uvrA* では5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ で、その他の検定菌ではすべての用量で抗菌性が認められた。また、S9 mix 添加試験においては、WP2 *uvrA* では500 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上で、その他の検定菌では150 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上で抗菌性が認められた。したがって、本試験では最高用量をS9 mix 無添加試験については、WP2 *uvrA* では5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、その他の検定菌では50.0 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、S9 mix 添加試験については、WP2 *uvrA* では625 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、その他の検定菌では200 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ として、公比2で6～7用量を設定して実施した。なお、TA1537のS9 mix 無添加試験では、本試験Iにおいて抗菌性の認められない用量が4用量に満たなかったため、最高用量を6.25 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ に下げ、本試験Iをやり直すとともに本試験IIを実施した。また、本試験Iの結果より、TA100、TA1535 および TA98のS9 mix 無添加試験では、抗菌性の認められない用量を4用量確保できると判断して最高用量を25.0 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ として6用量を設定して本試験IIを実施した。しかし、TA1535のS9 mix 無添加試験では、抗菌性の認められない用量が4用量に満たなかったため、最高用量を25.0 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ から12.5 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ にさらに下げ、本試験IIをやり直した。

その結果、2回の本試験とも用いた5種類の検定菌のいずれの用量においても、溶媒対照値の2倍以上となる復帰変異コロニー数の増加は認められなかったことから、ジイソプロピルベンゼンは、用いた試験系において変異原性を有しないもの（陰性）と判定した。

【緒 言】

既存化学物質安全性点検に係る毒性調査事業の一環として、ジイソプロピルベンゼンについて、細菌を用いる復帰突然変異試験をプレインキュベーション法¹⁾により実施した。

この試験は、サルモネラ菌（ネズミチフス菌）におけるヒスチジン要求性から非要求性への復帰突然変異²⁾、ならびに大腸菌におけるトリプトファン要求性から非要求性への復帰突然変異³⁾を指標とした変異原性の検出系である。

試験は、被験物質をそのまま検定菌に作用させる S9 mix 無添加試験と、哺乳動物のもつ薬物代謝酵素によって産生される被験物質の代謝物の変異原性を試験する S9 mix 添加試験とからなっている。

本試験は、「新規化学物質に係る試験の方法について」（昭和62年3月31日、環保業第237号、薬発第306号、62基局第303号）および「OECD毒性試験ガイドライン：471、472」に準拠し、「化学物質GLP基準」（昭和59年3月31日、環保業第39号、薬発第229号、59基局第85号、改訂昭和63年11月18日、環企研第233号、衛生第38号、63基局第823号）に基づいて実施した。

【材料および方法】

〔検 定 菌〕

Salmonella typhimurium TA100
Salmonella typhimurium TA1535
Escherichia coli WP2 *uvrA*
Salmonella typhimurium TA98
Salmonella typhimurium TA1537

S. typhimurium の 4 菌株は1975年10月31日にアメリカ合衆国、カリフォルニア大学の から分与を受けた。

E. coli WP2 *uvrA* 株は1979年 5 月 9 日に国立遺伝学研究所の から分与を受けた。

検定菌は -80°C 以下で凍結保存したものを用い、各菌株の特性確認は、凍結保存菌の調製時に、アミノ酸要求性、UV感受性および膜変異 (*rfa*) とアンピシリン耐性因子 pKM 101 (プラスミド) の有無について調べ、特性が維持されていることを確認した。

試験に際して、ニュートリエントブロスNo.2 (Oxoid) を入れたL字型試験管に解凍した種菌を一定量接種し、 37°C で10時間往復振とう培養したものを検定菌液とした。試験に用いた各検定菌液の濁度を Appendix 1 に示した。

〔被 験 物 質〕

ジイソプロピルベンゼン (略称: DIPB、CAS No. 25321-09-9) は、分子量 162.28 の無色澄明液体である。構造式等は Appendix 2 に示した。用いた被験物質は、ロット番号 、純度 99.8 wt% であり、 から供与された。被験物質は、使用時まで室温遮光して保管した。本ロットについては、試験期間中安定であることを確認した。

DIPBは、ジメチルスルホキシド (DMSO、ロット番号: DLR7825 および DLF7632、和光純薬工業(株)) に溶解して最高濃度の調製液を調製した後、同溶媒で所定の濃度に希釈して速やかに試験に用いた。

〔陽性対照物質〕

用いた陽性対照物質およびその溶媒は以下のとおりである。

AF2	: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド (上野製薬(株) ロット番号 46, 純度99.9%)
SA	: アジ化ナトリウム (和光純薬工業(株) ロット番号 TWR3330, 純度90%以上)
9AA	: 9-アミナクリジン (Sigma Chem. Co. ロット番号 96F05641, 純度98%以上)
2AA	: 2-アミノアントラセン (和光純薬工業(株) ロット番号 DSF2950, 純度90%以上)

AF2 および 2AA は DMSO に溶解したものを -20°C で凍結保存し、用時解凍した。

9AA は DMSO に、SA は超純水に溶解し、速やかに試験に用いた。

〔培地および S9 mix の組成〕

1) トップアガー (TA菌株用)

下記の水溶液 (A) および (B) を容量比 10:1 の割合で混合した。

(A) バクアガー (Difco)	0.6%	(B)* L-ヒスチジン	0.5 mM
塩化ナトリウム	0.5%	D-ビチン	0.5 mM

* : WP2 *uvrA* 用には、0.5 mM L-トリプトファン水溶液を用いた。

2) 合成培地

培地は、極東製薬工業(株)製の最少グルコース寒天培地 (ロット番号: HY1604、1996年10月25日製造、および HY2001、1997年2月7日製造) を用いた。なお、培地 1 l あたりの組成は下記のとおりである。

硫酸マグネシウム・7水和物	0.2 g	水酸化ナトリウム	0.66 g
クエン酸・1水和物	2 g	グルコース	20 g
リン酸水素二カルシウム	10 g	バクアガー (清水食品)	15 g
リン酸一アンモニウム	1.92 g		

径 90 mm のシャーレ 1 枚あたり 30 ml を流して固めたものである。

3) S9 mix (1 ml中下記の成分を含む)

S9**	0.1 ml	NADH	4 μmol
塩化マグネシウム	8 μmol	NADPH	4 μmol
塩化カルシウム	33 μmol	ナトリウム-リン酸緩衝液 (pH 7.4)	100 μmol
グルコース-6-リン酸	5 μmol		

** : 7週齢の Sprague-Dawley 系雄ラットにフェノバルビタール(PB)および 5,6-ベンゾフラボン(BF)の併用投与を行い、酵素誘導して作製された S9 (キッコーマン(株)、ロット番号: RAA-355、1996年11月22日製造、および RAA-359、1997年2月21日製造)を購入し、-80℃で凍結保存し、用時に解凍して用いた。PB および BF の投与量は1日目 PB 30 mg/kg、2日目 PB 60 mg/kg、3日目 PB 60 mg/kg および BF 80 mg/kg、4日目 PB 60 mg/kg であり、いずれも腹腔内投与したもので、肝臓の摘出および S9 の調製は5日目。

[試験方法]

プレインキュベーション法により、S9 mix 無添加試験および S9 mix 添加試験を行った。

小試験管中に、被験物質調製液 0.1 ml、リン酸緩衝液 0.5 ml (S9 mix 添加試験においては S9 mix 0.5 ml)、検定菌液 0.1 ml を混合し、37℃で20分間プレインキュベーションしたのち、トップアガー 2 mlを加えて混和し、合成培地平板上に流して固めた。また、対照群として被験物質調製液の代わりに使用溶媒、または数種の陽性対照物質溶液を用いた。各検定菌ごとに用いた陽性対照物質の名称および用量は各Table 中に示した。溶媒および陽性対照群は、同時に実施した他の試験と共通とした。培養は37℃で48時間行い、生じた変異コロニー数を目視またはコロニーカウンターを用いて算定した。抗菌性の有無については、肉眼あるいは実体顕微鏡下で、寒天表面の菌膜の状態から判断した。用いた平板は用量設定試験においては、溶媒および陽性対照群では3枚ずつ、各用量については1枚ずつとした。また、本試験においては、両対照群および各用量につき、3枚ずつを用い、それぞれの平均値と標準偏差を求めた。用量設定試験は1回、本試験は2回実施し、結果の再現性の確認を行った。

〔判定基準〕

結果の判定に統計学的手法は用いないこととした。

用いた5種の検定菌のうち、1種以上の検定菌の S9 mix 無添加試験あるいは S9 mix 添加試験において、被験物質を含有する平板上における変異コロニー数の平均値が、溶媒対照値の2倍以上に増加し、その増加に再現性および用量依存性が認められた場合に、当該被験物質は本試験系において変異原性を有するもの（陽性）と判定することとした。

【結果および考察】

〔用量設定試験〕

DIPBについて 50.0～5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ の範囲で公比を約3として、試験を実施した (Table 1)。その結果、S9 mix 無添加試験においては、WP2 *uvrA* では 5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ で、その他の検定菌ではすべての用量で抗菌性が認められた。また、S9 mix 添加試験では、WP2 *uvrA* では 500 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上で、その他の検定菌では 150 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上で抗菌性が認められた。

したがって、本試験における最高用量は、S9 mix 無添加試験については、WP2 *uvrA* では 5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、その他の検定菌では 50.0 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ とした。また、S9 mix 添加試験では、WP2 *uvrA* では 625 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、その他の検定菌では 200 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ とした。

〔本試験〕

上記の最高用量に基づいて、公比2で6～7用量を設定して本試験Ⅰを実施した (Table 2-1、2-2)。ただし、TA1537 の S9 mix 無添加試験では、抗菌性の認められない用量が4用量に満たなかったため、最高用量を 6.25 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ に下げ本試験Ⅰをやり直した (Table 2-3)。また、本試験Ⅰの結果から、TA100、TA1535 および TA98 の S9 mix 無添加試験では、抗菌性の認められない用量を4用量確保できると判断して最高用量を 25.0 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ に下げ、その他の検定菌では本試験Ⅰと同一の最高用量で6用量を設定して本試験Ⅱを実施した (Table 3-1、3-2)。しかし、TA1535 の S9 mix 無添加試験では抗菌性の認められない用量が4用量に満たなかったため、最高用量を 25.0 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ から 12.5 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ にさらに下げ本試験Ⅱをやり直した (Table 3-3)。その結果、すべての検定菌において、2回の本試験とも溶媒対照値の2倍以上となる変異コロニー数の増加は認められなかった。

DIPBについて実施したすべての試験において、用いた試験の調製液および S9 mix への雑菌の混入は認められなかった。また、陽性対照試験ではいずれの検定菌においても陽性対照物質の変異原性が検出され、溶媒対照値とともに、計測された変異コロニー数はヒストリカルコントロール値の範囲内であったことから、本試験系の有効性が確認された。

【結 論】

以上の結果に基づき、ジイソプロピルベンゼンは、用いた試験系において変異原性を有しないもの（陰性）と判定した。

【特 記 事 項】

試験の全過程を通して、試験の信頼性に影響を及ぼすおそれのある予期し得なかった事態、および試験計画書からの逸脱はなかった。

【文 献】

- 1) Matsushima, T., Sugimura, T., Nagao, M., Yahagi, T., Shirai, A., Sawamura, M.: in "Short-Term Test Systems for Detecting Carcinogens" Norpoth, K.H., Garner, R.C. eds. Springer, Berlin-Heidelberg-New York (1980) pp. 273-285
- 2) Maron, D.M., Ames, B.N.: Mutation Research 113: 173-215 (1983)
- 3) Venitt, S., Crofton-Sleigh, C.: in "Evaluation of Short-Term Tests for Carcinogens" de Serres, F.J., Ashby, J. eds, Elsevier/North-Holland, New York (1981) pp. 351-360

Table 1. Cytotoxicity of diisopropylbenzene on bacteria

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (μg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean \pm S.D.)															
		Base - pair substitution type									Frameshift type						
		TA100			TA1535			WP2uvrA			TA98			TA1537			
S9 mix (-)	0	95	103	94	7	8	9	25	20	38	25	19	25	7	6	7	
		(97 \pm 4.9)			(8 \pm 1.0)			(28 \pm 9.3)			(23 \pm 3.5)			(7 \pm 0.6)			
	50.0	51 *			2 *			27			18 *			8 *			
	150	33 *			0 *			24			12 *			0 *			
	500	54 *			8 *			30			20 *			2 *			
	1500	90 *			7 *			26			22 *			2 *			
	5000	33 *			0 *			22 *			5 *			0 *			
S9 mix (+)	0	108	99	122	10	9	11	26	24	27	23	28	29	12	6	9	
		(110 \pm 11.6)			(10 \pm 1.0)			(26 \pm 1.5)			(27 \pm 3.2)			(9 \pm 3.0)			
	50.0	80			9			39			37			11			
	150	82 *			9 *			37			18 *			10 *			
	500	84 *			6 *			31 *			30 *			6 *			
	1500	84 *			5 *			24 *			18 *			6 *			
	5000	99 *			4 *			25 *			20 *			0 *			
Positive control S9 mix (-)	Chemical	AF2			SA			AF2			AF2			9AA			
	Dose (μg /plate)	0.01			0.5			0.01			0.1			80			
Positive control S9 mix (+)	Chemical	2AA			2AA			2AA			2AA			2AA			
	Dose (μg /plate)	1			2			10			0.5			2			
S9 mix (-)	Number of colonies / plate	543	583	559	533	543	568	166	194	244	643	587	654	1907	1616	1554	
		(562 \pm 20.1)			(548 \pm 18.0)			(201 \pm 39.5)			(628 \pm 35.9)			(1692 \pm 188.5)			
S9 mix (+)	Number of colonies / plate	798	631	683	160	228	211	290	255	315	562	440	447	223	186	209	
		(704 \pm 85.5)			(200 \pm 35.4)			(287 \pm 30.1)			(483 \pm 68.5)			(206 \pm 18.7)			

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, SA: Sodium azide, 9AA: 9-Aminoacridine, 2AA: 2-Aminoanthracene

*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

Purity was 99.8 wt%.

Table 2-1. Mutagenicity of diisopropylbenzene on bacteria (I)

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (µg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean ± S.D.)															
		Base - pair substitution type						Frameshift type									
		TA100			TA1535			TA98			TA1537						
S9 mix (-)	0	93	110	91	19	17	11	25	9	24	5	8	5	(98 ± 10.4)	(16 ± 4.2)	(19 ± 9.0)	(6 ± 1.7)
	0.781	111	104	116	18	11	16	23	22	20	5	3	5	(110 ± 6.0)	(15 ± 3.6)	(22 ± 1.5)	(4 ± 1.2)
	1.56	107	119	117	13	14	19	10	22	20	5	3	5	(114 ± 6.4)	(15 ± 3.2)	(17 ± 6.4)	(4 ± 1.2)
	3.13	89	95	94	10	17	13	22	20	20	3 *	1 *	3 *	(93 ± 3.2)	(13 ± 3.5)	(21 ± 1.2)	(2 ± 1.2)
	6.25	105	99	86	11	14	19	12	27	20	2 *	6 *	3 *	(97 ± 9.7)	(15 ± 4.0)	(20 ± 7.5)	(4 ± 2.1)
	12.5	67 *	61 *	57 *	13 *	7 *	11 *	15 *	9 *	13 *	1 *	0 *	1 *	(62 ± 5.0)	(10 ± 3.1)	(12 ± 3.1)	(1 ± 0.6)
	25.0	25 *	35 *	40 *	3 *	9 *	7 *	18 *	15 *	14 *	0 *	0 *	0 *	(33 ± 7.6)	(6 ± 3.1)	(16 ± 2.1)	(0 ± 0.0)
	50.0	20 *	29 *	22 *	3 *	7 *	2 *	11 *	10 *	11 *	0 *	0 *	0 *	(24 ± 4.7)	(4 ± 2.6)	(11 ± 0.6)	(0 ± 0.0)
S9 mix (+)	0	115	116	127	22	11	17	32	32	39	11	8	12	(119 ± 6.7)	(17 ± 5.5)	(34 ± 4.0)	(10 ± 2.1)
	6.25	122	100	81	15	12	11	33	31	30	4	12	7	(101 ± 20.5)	(13 ± 2.1)	(31 ± 1.5)	(8 ± 4.0)
	12.5	118	89	90	10	16	19	42	24	35	6	8	8	(99 ± 16.5)	(15 ± 4.6)	(34 ± 9.1)	(7 ± 1.2)
	25.0	106	103	87	10	9	5	27	28	22	5	15	8	(99 ± 10.2)	(8 ± 2.6)	(26 ± 3.2)	(9 ± 5.1)
	50.0	83	84	86	11	11	9	29	29	31	13	13	7	(84 ± 1.5)	(10 ± 1.2)	(30 ± 1.2)	(11 ± 3.5)
	100	49 *	62 *	60 *	13 *	8 *	11 *	31 *	27 *	28 *	6 *	10 *	10 *	(57 ± 7.0)	(11 ± 2.5)	(29 ± 2.1)	(9 ± 2.3)
	200	83 *	64 *	63 *	3 *	2 *	1 *	28 *	26 *	14 *	2 *	4 *	0 *	(70 ± 11.3)	(2 ± 1.0)	(23 ± 7.6)	(2 ± 2.0)
Positive control S9 mix (-)	Chemical	AF2			SA			AF2			9AA						
	Dose (µg /plate)	0.01			0.5			0.1			80						
Positive control S9 mix (+)	Chemical	2AA			2AA			2AA			2AA						
	Dose (µg /plate)	1			2			0.5			2						
S9 mix (+)	Number of colonies / plate	456	465	416	192	200	162	639	636	634	716	652	597	(446 ± 26.1)	(185 ± 20.0)	(636 ± 2.5)	(655 ± 59.6)
		405	421	422	182	201	210	434	389	405	185	167	153	(416 ± 9.5)	(198 ± 14.3)	(409 ± 22.8)	(168 ± 16.0)

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide , SA: Sodium azide, 9AA: 9-Aminoacridine, 2AA: 2-Aminoanthracene

*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

Purity was 99.8 wt%.

Table 2-2. Mutagenicity of diisopropylbenzene on bacteria (I)

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (μg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean \pm S.D.)					
		Base - pair substitution type					
				WP2 <i>uvrA</i>			
S9 mix (-)	0			20 19 23 (21 \pm 2.1)			
	156			22 18 16 (19 \pm 3.1)			
	313			18 21 29 (23 \pm 5.7)			
	625			21 20 10 (17 \pm 6.1)			
	1250			23 13 21 (19 \pm 5.3)			
	2500			17 22 15 (18 \pm 3.6)			
	5000			22 * 21 * 17 * (20 \pm 2.6)			
S9 mix (+)	0			31 32 40 (34 \pm 4.9)			
	19.5			26 29 21 (25 \pm 4.0)			
	39.1			28 25 24 (26 \pm 2.1)			
	78.1			24 26 19 (23 \pm 3.6)			
	156			26 31 21 (26 \pm 5.0)			
	313			22 25 27 (25 \pm 2.5)			
	625			39 * 27 * 21 * (29 \pm 9.2)			
Positive control S9 mix (-)	Chemical			AF2			
	Dose (μg /plate)			0.01			
Positive control S9 mix (+)	Chemical			2AA			
	Dose (μg /plate)			10			
	Number of colonies / plate			127 128 150 (135 \pm 13.0)			
	Number of colonies / plate			442 484 533 (486 \pm 45.5)			

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide , 2AA: 2-Aminoanthracene

*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

Purity was 99.8 wt%.

Table 3-1. Mutagenicity of diisopropylbenzene on bacteria (II)

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (μg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean \pm S.D.)											
		Base - pair substitution type					Frameshift type						
		TA100			TA1535			TA98			TA1537		
S9 mix (-)	0	92	83	72	16	14	11	24	17	15	8	8	5
		(82 \pm 10.0)			(14 \pm 2.5)			(19 \pm 4.7)			(7 \pm 1.7)		
	0.195	ND			ND			ND			7 6 4 (6 \pm 1.5)		
	0.391	ND			ND			ND			5 3 2 (3 \pm 1.5)		
	0.781	110	92	102	11	8	12	17	19	20	4	4	5
		(101 \pm 9.0)			(10 \pm 2.1)			(19 \pm 1.5)			(4 \pm 0.6)		
	1.56	96	100	89	14	16	15	19	19	13	4	8	3
		(95 \pm 5.6)			(15 \pm 1.0)			(17 \pm 3.5)			(5 \pm 2.6)		
	3.13	78	85	81	7	10	12	13	14	19	8	6	10
	(81 \pm 3.5)			(10 \pm 2.5)			(15 \pm 3.2)			(8 \pm 2.0)			
6.25	92	56	73	11 *	9 *	11 *	11	14	16	1 *	4 *	2 *	
	(74 \pm 18.0)			(10 \pm 1.2)			(14 \pm 2.5)			(2 \pm 1.5)			
12.5	55 *	60 *	47 *	9 *	7 *	7 *	8 *	15 *	11 *	ND			
	(54 \pm 6.6)			(8 \pm 1.2)			(11 \pm 3.5)						
25.0	34 *	24 *	35 *	0 *	0 *	0 *	13 *	10 *	7 *	ND			
	(31 \pm 6.1)			(0 \pm 0.0)			(10 \pm 3.0)						
S9 mix (+)	0	98	82	88	17	15	13	39	38	28	11	10	22
		(89 \pm 8.1)			(15 \pm 2.0)			(35 \pm 6.1)			(14 \pm 6.7)		
	6.25	81	75	73	11	14	9	44	27	38	15	14	14
		(76 \pm 4.2)			(11 \pm 2.5)			(36 \pm 8.6)			(14 \pm 0.6)		
	12.5	86	99	72	8	11	15	30	24	44	10	9	14
		(86 \pm 13.5)			(11 \pm 3.5)			(33 \pm 10.3)			(11 \pm 2.6)		
	25.0	133	62	118	7	9	12	38	31	49	14	10	13
		(104 \pm 37.4)			(9 \pm 2.5)			(39 \pm 9.1)			(12 \pm 2.1)		
50.0	80	90	92	11	6	13	41	34	48	16	13	12	
	(87 \pm 6.4)			(10 \pm 3.6)			(41 \pm 7.0)			(14 \pm 2.1)			
100	66 *	79 *	63 *	12	6	12	30	26	24	12 *	9 *	9 *	
	(69 \pm 8.5)			(10 \pm 3.5)			(27 \pm 3.1)			(10 \pm 1.7)			
200	78 *	62 *	83 *	5 *	11 *	11 *	28 *	33 *	25 *	9 *	7 *	5 *	
	(74 \pm 11.0)			(9 \pm 3.5)			(29 \pm 4.0)			(7 \pm 2.0)			
Positive control S9 mix (-)	Chemical	AF2			SA			AF2			9AA		
	Dose (μg /plate)	0.01			0.5			0.1			80		
Positive control S9 mix (+)	Chemical	2AA			2AA			2AA			2AA		
	Dose (μg /plate)	1			2			0.5			2		
S9 mix (+)	Number of colonies / plate	453	477	416	499	491	505	555	542	494	825	843	749
		(449 \pm 30.7)			(498 \pm 7.0)			(530 \pm 32.1)			(806 \pm 49.9)		
S9 mix (+)	Number of colonies / plate	517	415	396	259	210	200	330	332	502	209	190	159
		(443 \pm 65.1)			(223 \pm 31.6)			(388 \pm 98.7)			(186 \pm 25.2)		

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, SA: Sodium azide, 9AA: 9-Aminoacridine, 2AA: 2-Aminoanthracene

*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

Purity was 99.8 wt%.

ND : Not done

Table 3-2. Mutagenicity of diisopropylbenzene on bacteria (II)

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (µg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean ± S.D.)					
		Base - pair substitution type					
				WP2 <i>uvrA</i>			
S9 mix (-)	0			22	20	15	(19 ± 3.6)
	156			21	19	23	(21 ± 2.0)
	313			17	13	21	(17 ± 4.0)
	625			16	16	20	(17 ± 2.3)
	1250			16	25	20	(20 ± 4.5)
	2500			37	28	21	(29 ± 8.0)
	5000			21 *	20 *	26 *	(22 ± 3.2)
S9 mix (+)	0			31	21	25	(26 ± 5.0)
	19.5			30	24	23	(26 ± 3.8)
	39.1			35	27	32	(31 ± 4.0)
	78.1			20	11	35	(22 ± 12.1)
	156			19	33	26	(26 ± 7.0)
	313			18	28	32	(26 ± 7.2)
	625			23 *	16 *	34 *	(24 ± 9.1)
Positive control	Chemical			AF2			
	Dose (µg /plate)			0.01			
S9 mix (-)	Number of colonies / plate			67	75	72	(71 ± 4.0)
Positive control	Chemical			2AA			
	Dose (µg /plate)			10			
S9 mix (+)	Number of colonies / plate			293	275	260	(276 ± 16.5)

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide , 2AA: 2-Aminoanthracene

*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

Purity was 99.8 wt%.

Table 3-3. Mutagenicity of diisopropylbenzene on bacteria (II)

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (µg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean ± S.D.)								
		Base - pair substitution type								
			TA1535							
S9 mix (-)	0		10	11	16					
			(12 ± 3.2)							
	0.391		17	15	17					
			(16 ± 1.2)							
	0.781		11	12	14					
			(12 ± 1.5)							
	1.56		5	6	12					
			(8 ± 3.8)							
S9 mix (-)	3.13		8	6	14					
			(9 ± 4.2)							
	6.25		8 *	8 *	6 *					
			(7 ± 1.2)							
S9 mix (-)	12.5		5 *	4 *	3 *					
			(4 ± 1.0)							
Positive control S9 mix (-)	Chemical		SA							
	Dose (µg /plate)		0.5							
	Number of colonies / plate		377	409	401					
			(396 ± 16.7)							

SA: Sodium azide

*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

Purity was 99.8 wt%.